

# 平成26年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立三田小学校
作成日	平成27年2月22日

## 1 教育目標

主体的・創造的な子どもを育てる

## 2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	とくに地域の教育資源の活用については、学校と地域の連携強化につながるものであり、適正な取組目標であると考えられる。	環境美化、道徳教育の充実など、児童の豊かな心を育む目標が掲げられていると考える。	基礎学力の充実のため「書く」力を育成することは非常に重要であり、適正な目標が掲げられていると考える。

取組の状況に対する意見	授業で実際の稲作に取り組むなど、地域を活かした取り組みが行われている。また、子ども祭りや餅つき大会では多くの地域の方々にも参加いただき、小学校が地域のコミュニケーション拠点となっている。	とくに学校内の環境美化については、四季折々の花が咲き、清掃も行き届いているなど、非常に良く進められている。	重点目標を踏まえ、各先生方の創意工夫を交えた基礎学力の定着に向けた取り組みが進められている。
-------------	---	---	--

検証結果に対する意見	概ね良い検証結果と考えられるが、一部保護者に対する取り組みが十分に伝わっていないと考えられるため、学級だよりなどによる保護者に対するのアピール強化も必要と思われる。	「いじめの取り組み」について、他の調査項目よりも「とても思う」「まあ思う」の割合が少なかった。いじめは深刻な人権侵害であるため、児童の様子には細心の注意を払っていただくようお願いしたい。	低学年の方が中高学年よりも「あまり分からない」「分からない」という答えが多かった。低学年でのつまづきはそのまま注高学年へとつながることから、低学年児童の基礎学力向上のため更なる配慮をお願いしたい。
------------	--	---	--

改善方法に対する意見	これまでの取り組みは今後とも継続していただくとともに、さらに連携が深められるよう、地域の方々から得られるアイデアを採用するなどの取り組みを進めていただきたい。	環境美化の取り組みについては継続していただくとともに、児童の豊かな人間性を育むため、道徳、人権教育については更なる充実をお願いしたい。	「書く」ことの意義の追求、朝学習の視写などは次年度以降も継続的に取り組んでいただきたい。また、児童個々の理解力に応じた支援などを通じて学力の充実を図っていただきたい。
------------	---	---	---

## 3 其他のご意見

児童の健やかな成長のためには、学校、家庭、地域が一体となった取り組みを進めていく必要があり、その中で学校の持つ役割は極めて大きい。今年度実施してきた様々な取り組みを継続していただくとともに、新たなアイデアの導入など、児童教育の更なる充実をお願いします。